

ESD/SDGs教育実践 活動報告セミナー

学習指導要領に掲げられている「持続可能な社会の創り手の育成」を具現化するため、沖縄県内の校種を超えた教育現場ではESD及びSDGsの達成に向けた教育実践が行われています。それは県のSDGs研究指定校やユネスコスクールの学校全体としての取り組みをはじめ、関心を持つ教師個人での活動も各教科・領域において数多く実践され、活動成果は沖縄県教育委員会が発行するSDGs実践事例集や、ユネスコスクール活動報告、沖縄ESDティーチャーの会などで報告且つ共有されています。今後活動をさらに広げ、多くの教育関係者が参加できるよう、最新のESDやSDGs教育の動向を学び、実践報告を通じて学び合う場を設け、情報共有や意見交換を促進するセミナーを開催します。2026年度は、ユネスコ世界自然遺産やんばるが登録され5周年を迎えたことを機に、やんばるを代表とする亜熱帯海洋性気候に生息する生き物や植物を通じた環境教育を学校現場でどう実現するかについて考えます。

日時

2026年10月31日（土）13:00～16:00

開会挨拶：福治友英（琉球大学理事・副学長）

第1部 SDGs教育実践活動報告

- ・県内小・中・高等学校からの実践報告（研究指定校）
八重山特別支援学校（オンライン）
「ハチトクからはじまる住み続けられるまちづくり～学部・教科を超えて取り組む持続可能な地域づくり～」 村吉多賀子教諭
恩納村安富祖小学校
「ふるさとの良さに気付き、守り継承する児童の育成」 宮崎梨絵教諭
- ・琉球大学における実践報告 鹿内健志（農学部教授）・山里絹子（国際地域創造学部准教授）



第2部 特別講演およびディスカッション

- 特別講演「やんばるの自然とともに生きる一写真を通して考える世界自然遺産と未来」
講師：久高将和氏（一般社団法人やんばるビジョン代表理事・写真家）
対談・ディスカッション「世界自然遺産をSDGs授業に」
対談者：久高将和氏、大島順子（琉球大学国際地域創造学部准教授）
木暮一啓（琉球大学理事・副学長／SDGs推進本部長）

参加対象

教育関係者、児童・生徒・学生

定員

100名 ※オンライン参加可能（上限300名）

場所

琉球大学共通教育棟3号館104教室

【主催】琉球大学

【後援】大学コンソーシアム沖縄、ESD活動支援センター、沖縄県ユネスコ協会

【共催】沖縄県教育委員会



ASPUnivNet

琉球大学はユネスコスクール支援大学間ネットワーク（ASPUnivNet）に加盟しています。

【お申込み方法】

二次元バーコードまたは下のURLから事前申込をお願いします。

<https://forms.cloud.microsoft/r/Gy1VvtLeMR>

【お問い合わせ先】

琉球大学学生部教育支援課 E-mail:kyhosa@acs.u-ryukyu.ac.jp

